

内閣記者会・経済研究会・総務省記者クラブ・農林水産省記者クラブ・国土交通省記者クラブ・経済産業省記者クラブ・環境省記者クラブに資料配付

## 報道資料

### 低炭素都市推進協議会の本年度の活動内容について

平成 22 年 5 月 28 日  
低炭素都市推進協議会

(事務局：内閣官房地域活性化統合事務局)

我が国政府は、今後我が国が目指すべき低炭素社会の姿を具体的にわかりやすく示すため、平成 20 年 7 月以降、温室効果ガスの大幅削減など高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市を「環境モデル都市」として選定し（13 都市）、関係省庁が連携してその実現を支援しています。

これを受けて、「低炭素都市推進協議会」（会長：北橋健治 北九州市長）では、環境モデル都市の優れた取組の全国展開を図るとともに、低炭素社会づくりに積極的に取り組む海外の都市と連携し、我が国の優れた取組を世界に発信すること等により、低炭素型の都市・地域づくりを進めています。

今般、平成 22 年度の第 1 回総会を本日開催し、以下の事項を決定しましたので、ここにお知らせいたします。

#### I 国際会議の開催

協議会における我が国の優れた取組の世界に向けた情報発信や国際連携促進に関する業務の一環として、京都市の議会の予算承認等を条件に、同市において国際会議を以下のとおり開催するとともに、開催に向けた実施体制を整えます。

名称：低炭素都市推進国際会議 2010（仮称）

開催日：平成 23 年 2 月 11 日（祝）

開催場所：国立京都国際会館（京都市）

#### II ワーキング・グループによる専門的な課題の検討

低炭素都市推進協議会に、昨年に引き続き以下の 2 つのワーキング・グループを設けると共に、新たに「全国展開型ベストプラクティス普及促進WG」を設け、専門的な課題の検討を進めていきます。

##### ①都市・地域の低炭素化施策推進WG（継続）

低炭素都市の実現に取り組む各都市における個別の課題に対応し、共通の課題に対する解決方策の検討、様々な先導的取組の実験的实施による有効性の確認とその波及、様々な技術や施策の連携による効果的・効率的展開等を、その課題ごとに検討する場として設置します。

## ②グリーン・エコノミーWG(継続)

低炭素化のためのまちづくりを通じ、地域の様々な主体の巻き込みや新たなビジネスモデルの確立等による地域活性化のモデル構築と、その普及方策を検討する場として設置します。また、新たな経済活動創出が期待される、地域間連携についても検討を行います。

## ③全国展開型ベストプラクティス普及促進WG (新規)

低炭素都市推進協議会メンバーによる優れた取組(ベストプラクティス)のうち、全国展開が可能と考えられるものについて、実際に取り組んだメンバーからの学びや発見された課題の共有等により、他の自治体へ波及させる目的で設置します。

### Ⅲ 低炭素都市づくりベストプラクティスについて

協議会構成員のワーキング活動を通じた優れた取組等を、広く一般に周知し低炭素社会づくりの展開・波及の一助とするため、幹事会において検討された当協議会の表彰・賞の授与(ベストプラクティス選定)の実施方針について決定しました。

#### ・ 選定の対象

協議会に設置されたワーキング・グループの事例集に掲載されている事例及びワーキング・グループ参加者からの提案の中から選定します。

#### ・ 選定に当たって重視する要素

社会変革効果、温室効果ガス削減効果、先導性、地域連携

#### ・ 賞の種類

①ベストプラクティス賞(BPA)：社会変革効果・温室効果ガス削減効果の実績があるもの。

②グットプランニング賞(GPA)：未実施だが、今後効果が期待されるもの。

#### ・ 選定後の展開

京都市で開催される2010年度の低炭素都市推進国際会議にて事例発表予定。

#### ※ 低炭素都市推進協議会

低炭素型の都市・地域づくりに向けて、環境モデル都市の優れた取組の全国展開を図るとともに、低炭素社会づくりに積極的に取り組む海外の都市と連携し、我が国の優れた取組を世界に発信することを目的とし、平成20年12月14日に設立。5月28日現在で、86市区町、46道府県を始め、関係政府機関等全184団体が加入。

#### 問い合わせ先

内閣官房地域活性化統合事務局

末松 03-5510-2199

浜島 03-5510-2207